

# 三心を磨く

学校だより NO. 40  
平成30年1月30日(火)発行  
須坂市立東中学校  
文責：金井 勝久(教頭)  
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## 学校評価 保護者の皆様から寄せられたご意見について(4)

### II 本校の学習指導、進路指導等について

#### (3) 3学年の保護者の皆様から寄せられたご意見

②夏休みの講習会は、親としては大変ありがたかったが、子どもからは、塾に行った方が良かったとの感想であった。意識の問題とは思いますが、「いつもの授業よりうるさくて、意味があんまりなかった」と言っていたので、忙しい中、時間を作ってください先生方のことを考えると、もう少し工夫していただけると良いと思った。

→ご意見ありがとうございます。今年の夏休み中の補習につきましては、テキストを事前に配布して予習をしてきてから教師が解説するというように、塾の夏期講習と同様の形態で行いました。3年生は、特に受験を控えている身でありますので、積極的に取り組んでくれることを期待しておりました。今後は、生徒の意識の高揚と同時に、指導内容も考えていきたいと思っております。

③家庭学習は…子どもが勉強をしないのは、親の指導不足、監督不足と反省しております。

→家庭学習時間の少なさ、自分で計画して学習する時間の少なさは本校の課題の一つです。全国学力・学習状況調査からは、「家で学校の宿題をしている」が93.1%で全国と同程度でしたが、「家で、学校の授業の復習をしている」が36.2%、「家で、自分で計画を立てて勉強している」が46.6%と全国平均、県平均を下回っています。家庭学習の大切さについて学校でも引き続き指導してまいります。

④もっと個人に目を向けて、一人ひとりにあった学習指導をしてほしい。

→ご意見ありがとうございます。補習の時間の確保やTT(チーム・ティーチング：補助教師がついて理解が不十分な生徒への支援を行う)の導入等を通して、一人一人の生徒が分かった、できたと言えるように指導の在り方を工夫してまいります。

⑤電子黒板等を使った授業は大変面白いと思いますが、その分先生たちの仕事が増え、大変なのでは、と思います。

→昨年度から、学力向上に向けて、電子黒板やデジタル教科書、タブレットを用いた教育のICT化を進めてまいりました。当初は、使い方等にと戸惑っていた教師もおりましたが、研修等を重ねていく中で、今では使いこなせるようになりました。生徒の授業アンケートでは88%の生徒が、授業が分かりやすいと回答してくれるまでになりました。

⑥校長室前のプリント、子どもが今挑戦しています。しかし、プリントをもらいに行くとき、他の生徒から冷やかされるので、教室にそれぞれ置いてほしいと言っています。校長室だけでなく、プリントを気軽に取り出せるよう、お願いします。

→ご意見ありがとうございます。1年生から3年生までのすべての単元のプリント、合計122枚すべてを各教室に配置することは難しい面がありますので、学校帰りに校長室に取りに来てもらうなど、

生徒と相談したいと思います。また、一生懸命学習して自分の力を伸ばそうとする友達を冷やかすなど、足を引っ張る行為は許すわけにはいきませんので、そちらの指導も同時に行っていきますので、自分の目標に向かって努力するように励ましていただきたいと思います。

⑦ホームページの進路通信が、No.11 から更新されず、困ります。また、進路通信の中に、期日と曜日が違っていました。

→大変申し訳ありませんでした。NO,11 の期日と曜日の間違いにつきましては、訂正板を配布させていただき、その関係で、それ以降の進路通信の更新が遅れてしまいました。今後はこのようなことがないように、点検を確実に行ってまいります。ご迷惑をおかけいたし申し訳ありませんでした。

⑧学力向上の取組は、まだできていない（うちの子は）と思います。

→授業自体が分からない、授業では分かるが家に帰って復習しようとするのが分からない、家庭学習が不足していて定着が不十分等、一人一人の課題の所在が違いますので、生徒の実態に応じて学級担任と相談をお願いいたします。

⑨他の学校と比べると、受験生らしくない、というか、大丈夫なのかな？と思う学生が多いと思います。

→ご指摘ありがとうございます。「学力向上」は本校の大きな課題であると同時に、「学びに向かう力の弱さ」も、課題の一つとして見えてきております。ご指摘いただいたことは、学校でも課題と受け止めております。受験生としての意識を高めるために、一年生の早い時期からの進路希望調査の実施、校内だけではなく外部の模擬テストの導入等を現在検討しているところであり、生徒の受験に向かう意識の高揚に努めてまいります。

◇教科ごとに係が決まっていますが、授業中の班分けなどを係に任せてくださることが良いことだと思う反面、いつも同じメンバーだったり、得意な人ばかりが同じ班にかたまった状態で授業を受けていたりするのはいかがなものでしょうか。

→授業における班編成につきましては、一部の生徒のわがままや好きな者同士等にならないように配慮しております。また、視力弱いので黒板の近くにしてほしい等の要望も聞きながら決めておりますので、個別の事案につきましては、具体的にお知らせいただければと思います。

(4)学年の記述がなかった保護者の皆様から寄せられたご意見

①体育の授業でチームを作るとき、好きな人同士でやるようですが、友達関係がうまくいってない生徒にとってはとてもつらく、悲しい思いをしています。授業なので、先生に決めてもらうことはできないのでしょうか。そういう生徒がいることを忘れないでほしいと思います。

→ご指摘ありがとうございます。保健体育科では、基本的には、チームの戦力が均等になり、全員がその種目を楽しめるように話し合わせております。一人になったり、いやな思いをしたりする生徒が出ないように配慮して指導しております。

②学力向上は、以前より熱心に取り組んでいただいているのを感じます。

→「学力向上」は本校の大きな課題であり、学校の使命の一つであります。学校だよりでもお知らせいたしましたように、全国学力・学習状況調査でも、昨年度と比較しても少しずつではありますが、成果が見えてきています。数学Aでは全国平均を上回ることができました。すべての教科が全国平均を上回れるように、今後も努力してまいります。